



松原かわらずみ

世帯数 1,194 戸
人 口 3,031 人
(平成 29.9.1 現在)

第 27 回 松原のいづら祭

「いづら祭」がスタートしました。夕方より小雨となりましたが盛大に最後まで皆様楽しんでいただけたことが何よりと思います。

今年親子、大人の皆さんが楽しめる内容を企画・実行しました。鱒づかみ・鱒焼きは大勢の親子で楽しみました。子ども達の笑顔が何より松原地区の活力と宝物と思います。

「いづら祭」の盛り上がりが地域の元気づくりに貢献出来たと思います。ご協力いただきました実行委員会・ボランティア・会員の皆様にお礼を申し上げますと共に、今後皆様も楽しんで、明るく過ごしていただければと思います。

町会連合会長 土屋澄彦

明善中学校生徒の皆さんも運営に参加しました!

今回、僕は「魚つかみ」の手伝いをさせていただきました。このお祭りには去年もその前もずっと用事があり参加できなかったのですが、気合を入れて取り

組めたと思います。そういう気持ちのせいかな、魚に串を刺す仕事では、役員の方に褒めていただけました。少しでも地域に貢献できていたら嬉しいですね。

今年はいづら祭は準備から参加した。最初は、大変そうだなと思っていただけ、やってみたら意外と楽しかったし、友達がいすキャンデーを買ってくれた。一人二本買う人もいたし、吹奏楽部・合唱団の人達に先生が買ってくれた。そのおかげで、結構売れたようなので良かった。

一年 矢ヶ崎 楓華
(取材 編集委員)



◆◆青山様・ほんほん◆◆
今年も8月2、3日に青山様・ほんほんが行われ、小学生が地区内各戸をまわりました。



◆◆夏休みのラジオ体操◆◆
子供会育成会では、初めての試みとして、一般の人のラジオ体操への参加を呼びかけた。すでに行っている地域もあるとのこと。服田会長は、ラジオ体操を通じて地域がつながりを持ち、年間を通してこの活動が広がっていかねばと話してくれた。

(編集委員)



第42回
東南ブロック
球技大会

東南ブロックの6地区(松原・内田・寿台・中山・寿・芳川)で主催する球技大会が、8月27日に開催されました。

「バドミントンやりたいね!」の一声から、今年は新たにバドミントンにも参加し、6名の選手が、さわやかな汗をかきました。これを機にバドミントンクラブを発足し、週1回活動していきます。ぜひ一緒に活動しませんか。

【結果】
総合
新卓球：4位

バドミントン：4位
ソフトバレーボール
39歳以下：優勝
40歳以上：3位
マレットゴルフ
男子：3位
女子：3位
軟式野球：準優勝



全国ラジボール卓球大会
百瀬・山本ペア3位入賞

第1町会の百瀬修三さんと同町会の山本節子さんのお二人が、和歌山市で6月29日から7月2日に開かれた第30回全国ラジボール卓球大会(日本卓球協会主催)に出場し、混合ダブルス65歳以上の部で見事3位に入賞されました。予選リーグを1位通過で快進撃が続き、決勝トーナメントも順調に勝ち上がり、あと一歩で夢の実現に近づきましたが、残念ながら準決勝敗退で

決勝進出を逃しました。お二人は、松原の卓球クラブに所属し、毎週水曜日に地区公民館でメンバーを指導されながら練習にも励まれています。「来年は、もっときれいな色のメダルを松原に持って帰ってくるね」と意気込みを頼もしく語られています。



防災豆知識

○ご飯を簡単に炊きましょう。
お米・水・ビニール袋を用意。ビニール袋に分量の米と水を入れ、しっかりと口を閉じます。後は、お湯を沸かし、準備したビニール袋を湯の中に15分程沸騰させる。炊きたてご飯のでき上がり。

鍋でなくてもOK、沸かす湯は海水や川の水でもOK。
詳しくは、ネットです!!

○ツナ缶は一般によく利用されます。災害時の保存食としても便利です。そのままでも食べられます。他の調味料と合わせても美味しく飽きがきません。食べ終わった缶と残油でランプが作れます。

詳しくは、ネットで!!
災害時は自分の判断が大切。知識を深めておきましょう。
(編集委員)

9月3日 地区防災訓練

実際の災害を想定し、今年「町会ごと北・東・南・中央」の各公園を会場に災害対策本部を設置し、安否確認・情報収集・避難訓練(町会によっては救護・消火訓練等)を実施しました。

また地区としては、「町会連合会対策本部」を地区公民館に設置し、各町会の町会長・防災防犯部長が避難状況を報告する情報収集・伝達訓練も行いました。試行を重ねながら、「いざ」というときに備えていきましょう。



コラム
北の旅人

子どもからの挨拶

休日には健康維持のため松原の街中をウォーキングしています。時々園児や児童とすれ違う時に「こんにちは」と挨拶をされることがあります。たぶん、園校で教えていると思われ。見知らぬ私に笑顔で挨拶してくれると、その日は心が和み心地よい気分です。同じ地域に住んでいるが近隣同士のつながりが稀薄になって来ている中で、「挨拶」をすることによりお互いの絆も強まるのではと思うことがあります。しかし都会のマンション等では近隣でも声を掛け合わないと言う話を時々聞きます。子ども達には犯罪に巻き込まれる恐れがあるから「見知らぬ人には挨拶をしてはいけない」と教えている様ですが、その環境では理解もできません。松原はのどかな住宅街です。犯罪に巻き込まれる危険は少ないように思います。園児、児童の「挨拶」から和の輪が広がります。大人同士も挨拶のできる街になることを願います。賛否はあると思いますが、今の子ども達が大人になれば街の様子も変わって来ると思っています。
(編集委員)